

令和6年度 第1回いずみおおつ健康食育計画推進委員会 議事録

日時：令和6年5月30日（木）13：30～15：00

場所：泉大津市立保健センター3階 集団指導室

開 会

- ・健康こども部長あいさつ
- ・事務局より、資料の確認
- ・各委員及び事務局より、自己紹介
- ・委員推薦により委員長に上野委員を選出して承認。委員長指名により、副委員長に植田委員を選出して承認

委員長：国では、健康日本21の第三次計画が策定されている。健康づくりについては、末端まで拡げていくのは本当にとっても難しい仕事だと感じているが、今日の委員会には、色々な組織から参加いただいている委員がおり、また市役所も色々な部署から参加いただいているので、この委員会はとても力強いものだと感じている。ぜひ活発な議論を一緒にしていきたい。

1. 第4回いずみおおつ健康食育計画策定について

- ・事務局より、資料1及び資料1-1について説明
(質疑応答)

事務局：性別を問う質問の選択肢、「3. 答えたくない」について、LGBTQへの配慮は十分なのか。例えば、質問や選択を飛ばすようにするなど、答えたくないという意思を表示させるような表現は避けた方が良いと思う。

委員：私も性別を答えることについて、どのような意図があるのかお聞きしたい。

S R C：性別の質問自体を省いてしまうのも方法だとは思いますが、健康に関するアンケートなので、女性には女性特有の健康課題があったり、男性ではなかなか相談されない傾向があったり、メタボ等では男性の方に課題がある場合もあるため、性別の質問は削除せず、LGBTQへの配慮のために、選択肢の3番で「答えたくない」を追加している。ただし、選択肢については、「3. その他（ ）」や「3.（ ）」という形にするなど、自治体によって考え方も違うので、その部分は改めて調整させていただく。

委員：小学校も中学校も、LGBTQについては今非常に繊細に取り組んでいる。そういう観点で言うと、「答えたくない」は、私は女性でも男性でもありませんというアウトティング以外の何物でもない。これは論外である。小・中学校でこのアンケートを実施したいということであれば、小中学校校長会でこのアンケートは通らないという判断になると思う。基本的には、性別を問う項目は除外いただきたい。

S R C：計画の指標項目になっていたり、前回の調査結果の比較をさせていただきた

いなどで、どうしても性別の質問をさせていただきたい場合は、どのような書き方をすれば載せても良いか、ご教示いただきたい。

委員：そもそも性別を聞く必要があるのか疑問がある。根本的な問題として、性的に特異な話そのものが、今の考え方ではないのではないかと。健康についてであれば、全体的な話で問題ないと思う。子どもたちの中には、この質問を見ただけでしんどくなる子どももいると思う。選択肢がたくさん用意されている大人には問題ないと思うが、子どもはまだ本人も理解ができていない場合もあると思うので、こういった話を極力避けようというのが学校現場の現状である。学校現場の状況からは著しく逸脱しているので、アンケート項目に性別が必要であるというのであれば、協力はできないということになる。

S R C：現行計画で載せている指標の内容を見直し、事務局と相談させていただく。

委員長：小学生・中学生は、それぞれ何年生が対象になるのか。

S R C：小学生は5年生、中学生は2年生を対象としている。

委員長：性別の問題以外でも、質問に対する答えやすさは大丈夫でしょうか。

委員：「食育という言葉の意味を知っていますか」という質問があるが、これは子どもたちに聞いても絶対知らないと思う。「食に関心があるかどうか」であれば良いと思うが、そもそも、「食育」は学校の教員が子どもたちに施すものなので、食に対する教育に関心があるかを子どもたちに聞いたところで、基本的にはないと思う。書き換えていただければ、子どもたちの食に対する意識もわかると思うが、どうか。

S R C：この質問は、前回調査で同様の質問をしているもので、経年比較をするためにそのまま今回も掲載していたが、指標項目として設定されていないかを確認し、いただいた意見を踏まえて再度検討する。

委員長：企業アンケートもあるが、商工会から意見はあるか。

委員：特にない。

委員：受動喫煙の質問でパチンコを削除いただくのはありがたいが、そもそも今パチンコ屋は禁煙になっているので、パチンコ屋での受動喫煙はない。

S R C：最近はおそらくさまざまな施設で受動喫煙の対策をしているとは思いますが、今回の質問としては、こういう場所で受けたかどうかという質問で、それぞれの地域で実際の分煙や受動喫煙に対する対策が進んでいるかというところを把握したいと考えて設定しているが、遊技場の説明部分としての内容については、再度検討する。

委員：例として競馬場も挙がっているが、なぜ競馬場なのかと思う。遊技場でも、色々な所があると思うが、その中であえて競馬場を選んで子どもたちにきいている理由は何か、子どもたちが競馬場に通っている率が高いというようなことがあるのか。

S R C：そうではない。国や大阪府の調査との比較のために質問文や項目を合わせたためそのような書き方になっているが、小中学生の調査票については、子どもにわかりやすい形に修正を行う。

委員：このアンケートについては、これで実施するという事になったら、また学校長会に下ろしていただくと考えてよろしいか。

事務局：調査項目の内容が決まったら、学校長会で説明させていただく。

2. 令和6年度健康づくりの取り組みについて

・事務局より、資料2について説明

(質疑応答)

委員：泉大津市では独自で素晴らしい取り組みをされていると思ったが、例えばイベントで検査を受けた場合、検査結果は紙で渡されるのか。今後、マイナンバーカードに保険証が含まれて、マイナンバーカードをかざすことで、薬の処方や特定健診の結果がみられるようになっていく。今はまだ整備中で、これから直さないといけないところはまだまだあるので、落ち着くまでには時間はかかると思うが、そのプラットフォームに載せることはできなくても、どこかで情報をみることはできるようになるのか。

事務局：アプリ「いずみおおつ マイ・レコ」で管理ができるようになっているが、特定健診の結果との紐づけはできていない。あくまでイベント等で測定した際の結果を反映できるようになっている。また、アスマイルでは体重や健診の記録を自分で記録できるようになっているので、それも併せて活用できるようになればと思っている。説明した保健事業については、保健事業ガイドとして冊子編集し、1冊にすべての事業をまとめている。インターネットから情報を得にくい方等への周知に活用するとともに、ホームページでも閲覧できるようにしているので、市民に広く情報提供していきたいと考えている。

委員：「いずみおおつ マイ・レコ」では、これまでの市での測定は見られるのか。

事務局：市で実施しているベジチェックの結果や体組成測定などを測った履歴が確認できるようになっている。

委員：独自のことを実施されているので、もっと前面に押し出していただければよいのではないかと思う。

事務局：実際にはまだ稼働していないものもあるので、秋頃にはしっかり稼働して皆さんに周知できるようにしたいと思う。

委員：対外的にもっとPRをした方が良いと思う。

委員長：色々な事業でアプリと連携しているのであれば、会場でアプリの入れ方や見方の説明なども一緒にPRしていただくと、より周知できるのではないかと思う。アンケートについても、何か意見があればお願いしたい。

委員：アンケートについて、中学生用の調査では「ダイエットをしていますか」という質問があるが、回答に対してどのような対策を取るイメージなのか。この質問の趣旨は何か。肥満傾向の方が、生活習慣病とか将来的なことを考えてダイエットをする、健康のためにダイエットをしていますかというのと、美容等のために本来はする必要がないのにダイエットしているという部分を見つけ出そうとしているのか。どういう前提で設問を設定しているのか。

事務局：中学生用の調査では、 unnecessaryなダイエットをしている子はいないかを把握するために設定している。その前の質問に身長と体重を聞く質問もあるので、その結果との比較分析を行いたいと考えている。特に若い方ではやせの問題があるので、その内容も踏まえ、適正体重を維持することの重要性について啓発していきたいと考えている。

委員：そういう意図であれば、小学生も5年生であれば調査項目として追加しても良いのではないかと思う。

委員：発達段階によって違うとは思いますが、説明いただいた趣旨であれば小学生用にも追加しても良いと思う。

事務局：検討する。

委員長：健康づくりについては、国の健康日本21第3次計画においても、ライフコースアプローチと言われていて、子どもの健康状態から改善していくことが重要で、大人になって突然生活習慣病が発生するわけではないので、そういう意味では、小学生・中学生に調査を実施するのは、とても大事なポイントだと思う。色々なご意見もいただいたが、ぜひ前向きに進めていただいて、健康づくりに生かせるような形にできればと思うので、どう改善したら実施できるのかという視点で検討いただけたらと思う。また、事務局側に色々な課の方が入っているが、健康は健康づくり課だけで進めていくものではなくて庁内挙げて取り組むことなので、ご意見をいただき、順調にアンケートが進むようお願いしたい。

その他、各団体で今年度から新たに取組まれていることがあれば教えていただきたい。

委員：大阪府では、令和6年4月から第4次の健康増進計画・食育推進計画がスタートしている。引き続き、たばこ対策や働く世代の健康づくりへの支援、食環境整備などの事業に取り組んでいる。新たな取り組みでは、万博を契機とした食育の推進ということで、今週末に食育推進全国大会が開催される。大阪府の保健所も合同でブースを出展する予定で、各保健所で実施している食育と食環境整備の取り組みを紹介するので、ぜひお立ち寄りいただきたい。また、食環境整備では、V.O.S.（野菜たっぷり・適油・適塩）を推奨しているので、引き続き取り組んでいきたいと思っている。市とも連携しながら、ヘルシーメニューの提供に取り組んでいただける飲食店の増加に向けて働きかけをしていきたいと考えている。取り組んでいただける店がまだまだ少ないという課題もあるので、泉大津市の健康づくり課や保健センターの皆様をはじめ、団体の皆様にも協力いただきながら取り組んでいきたいと考えている。

委員長：V.O.S.について詳しく教えてほしい。

委員：V.O.S.（野菜たっぷり・適油・適塩）、Vは野菜（Vegetable）、Oは適油（Oil）、Sは適塩（Salt）の略で、野菜120g以上、脂肪エネルギー比率30%以下、食塩相当量3.0g以下、この3つの基準をクリアしたヘルシーメニュー

一のことで、生活習慣病予防にも野菜や油・塩の摂りすぎがすごく重要になるので、そのあたりの条件をクリアしたメニューについて保健所で承認している。

委員長：色々な場所で広報されると思うが、それを分かった上で参加するのも随分違うと思う。

委員：今年の5月1日から、栄養ケアチーム、すぷらうとという名前で活動することになった。内容としてはこれまでも調理教室など色々とさせていただいたが、今年度から訪問・外来栄養の食事指導が増えた。かかりつけの先生からの依頼になるが、今後も増えてくるのではないかと考えている。

委員長：診療をされている主治医の先生からの依頼で行うものなのか。

委員：かかりつけ医からの依頼で行うもので、勝手に行って指導するものではない。

委員長：治療方針の中に入るのか、医療費に含まれるのか。

委員：それに関しては、まだ決めている段階。

委員：クリニックや病院では、栄養指導をしたくてもできないところが多い。困っているところも多いと思うので、もう少しインフォメーションを医師会に出してもらえればと思う。

委員長：2025年問題もあり、在宅での介護や診療を含め、必要になってくる方も多くなるのではないかと考える。周知の問題はあるが、今後ますます発展していくのではないかと考える。

3. その他

- ・事務局より、次回会議予定（8月頃開催）の報告

閉 会